

こどもランチサポータ(賛助会員)のご紹介



株式会社 設備技研

(株)設備技研
代表取締役 平良 智
沖縄市泡瀬1丁目10番13号

(有)文正堂
代表取締役 宮城一雄
北谷町字桃原7-1
☎926-3510

こどもランチ

パーラーどんちゃんからお米やタコライスの食材やアイ스티ーの提供を何度もいただきました。

パーラーどんちゃん
沖縄市泡瀬5-41-5 ☎936-7596

有限会社 エレメンツ
[経営革新計画承認 第347号]

代表取締役社長
普久原 誠
Fukuhara Makoto

〒904-2172 沖縄県沖縄市泡瀬5丁目27番6号
TEL: (098)894-9240 FAX: (098)894-5099
Mail: elmt.9240@gmail.com
Mobile: 090-3011-4373

あったか弁当
沖縄市泡瀬5-30-7 ☎938-2524

あったか弁当 電話 938-2524

米八そば
沖縄市泡瀬5-29-6 ☎938-3266

ティー・ワイ・シー

代表者 **高江洲 義人**

〒904-2172
沖縄県沖縄市泡瀬2-41-12
TEL (098) 929-0066
FAX (098) 929-0077
携帯 090-9071-0293
E-mail: yosi-to@woody.ocn.ne.jp

株式会社 ライフLABO

代表取締役 **向井 伸悟**
SHINGO MUKAI

在大阪

(資) 沖縄ペストコントロール社
沖縄市・北谷町飲食業組合賛助会員
中部福祉保健所登録

代表者 **玉城 金整**
KINSEI TAMAKI

事務所 沖縄市泡瀬5丁目9-19
TEL&FAX (098)937-9788
5時以後 TEL (098)934-2232
携帯 090-7586-8408

元泡瀬第三青年会 会長

8/10掲載

1品持ち寄り弁当好評
地域で子の昼食応援

沖縄市泡瀬第三自治会

【沖縄】7月27日から泡瀬第三自治会仲買部が始めた「1品持ち寄り」のテイクアウト弁当が好評で、区民共働きの世帯から「これもありかたい」と感謝の声が寄せられている。仲買自治会は「区初の試み。長期の休みに共働き世帯の子どもの昼食応援をした」と趣意を話している。

弁当の提供は同地域の5、6丁目に住む小中高生が対象。事前申し込みで50発用意し、余った弁当は希望する大人にも提供する。弁当作りは毎週火曜日から金曜日、20日まで実施予定だ。

自治会に限りで情報発信してランチサポーターを募集したところ、婦人会の会員約20人が快諾、「コロナ禍で公民館での作りは厳しい。家庭で育てる野菜を調理し、おかしな一品を持ち寄ることにしよう」との提案があった。

弁当作りには、会員が家庭で調理したニンジン、ウインナー、ハッシュドビーフ、ウィンナーなどを寄せる。一版は仲買自治会と書記の町田奈美さんが準備し、公民館で

食材の寄付も 区民感謝

公民館で提供されている弁当メニュー＝沖縄市・泡瀬第三公民館

肉や食堂 in へんざさんには
トンカツ60枚×2回を無料提供いただきました。

Batcher's Restaurant
肉や食堂 in へんざ
phone 090-8823-7130
open 11:00-21:00 closed Thurs

8/12掲載

手作りマスク寄贈
沖縄市泡瀬三区の並里さん

公民館などへ800枚

【沖縄】昨年新型コロナウイルスの感染が拡大し、市民館に届けられたマスクが手薄になった。市から今年7月まで、市泡瀬三区の並里さん70が、自宅で800枚を制作し、公民館や友人、友人らに無料で配布し感謝されている。保育士をしている並里さんが、マスク不足を聞いたとき、思い付いたという。手作りマスクは、色も赤、黄色、青と鮮やかでハッピーな印象。子どもも着たいという。並里さんは「マスクの補給をお願いします」と声を掛けると、一分かりました。仲買自治会は「並里さんに感謝です。来館者がマスクを忘れた際に、お使いください」と

一週間献立メニュー

8/19掲載

手作りランチ「おいしい」
地域が寄付や食材

利用者増え1日60食

【泡瀬】泡瀬第三自治会(仲買部)は今年が、夏休みの地域の手づくりランチを無償配布する「おいしい」を始めた。初の試みに地域住民から約400の寄付が寄せられたが、近隣の飲食店や肉店からも食材が提供され、支援の輪が広がった。大人には見守られながら、地域の手づくりランチを食べている。

泡瀬第三自治会(仲買部)は今年が、夏休みの地域の手づくりランチを無償配布する「おいしい」を始めた。初の試みに地域住民から約400の寄付が寄せられたが、近隣の飲食店や肉店からも食材が提供され、支援の輪が広がった。大人には見守られながら、地域の手づくりランチを食べている。

休みの日も向けたいという企画を多く実施してきた。今年も新型コロナウイルスの影響で、地域住民からの寄付が約400に増え、肉店からも食材が提供され、支援の輪が広がった。大人には見守られながら、地域の手づくりランチを食べている。

泡瀬第三自治会(仲買部)は今年が、夏休みの地域の手づくりランチを無償配布する「おいしい」を始めた。初の試みに地域住民から約400の寄付が寄せられたが、近隣の飲食店や肉店からも食材が提供され、支援の輪が広がった。大人には見守られながら、地域の手づくりランチを食べている。

お手伝いサポーターの皆さんの健康管理に感謝します。